

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2022 年 12 月 30 日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう笠岡2組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	1		・活動スペースが確保できるように、机の配置等を工夫したり活動場所を分けるなど人数を分散させる工夫を行っている。
	②	職員の配置は適切である	4			・適切な人数を配置している。 ・当日の動きを確認し役割を振り当てている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			・ドアノブや扉等皆が触る場所の消毒も念入りしている。 ・感染対策マニュアルに基づき実施している。 ・換気・手洗い・うがいの徹底。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返りに、広く職員が参画している)	4			・新たな取り組みの達成度の確認や改善の話し合いをしている。 ・パート職員にもミーティング記録を閲覧し共有をしている。 ・振り返りをするように心がけている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			・評価表の結果をまとめ、職員間で共有し、改善に努めている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			・書面とホームページにて公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			・定期的な研修で技術向上の機会を設けている。 ・虐待防止や権利擁護、感染症対策等の研修に参加している。 ・事業所内で行事企画や支援についてのミーティングを行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			・半年に1回モニタリングを行い、現状把握をしながら、個別支援計画の作成をしている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			・企画案を持ち寄り、全員で綿密に活動計画を立てている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			・以前の活動と同じにならないように、内容を変更したり、新しい企画も入れつつ、楽しい活動を企画に努めている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			・休日、長期休暇時には時間をかけじっくりと取り組める活動を意識したり、子ども達が飽きないように平日とは違う活動を取り入れている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			・基本的には集団活動を行っているが、子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動をしている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・ミーティングで当日の業務の確認や児童の対応で気を付ける事を話し合い役割分担をしている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・その日の様子を詳しく記録に残している。共有する事は次の日のミーティングで伝え、支援の検証や改善に繋げている。
	⑮	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			・半年毎にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	4			・ガイドラインを確認しながら、基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等)の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			・送迎時には、子どもの様子を教えていただいたり、事業所での様子をお知らせし連携を取っている。また他な情報共有や連絡調整も行っている。	
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	1		・学校等と共有している。 ・必要な場合にはケース会議を開き、密な情報交換をしている。	
	⑲	子校を卒業し、放課後等アクトリス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している			4		・現在、障がい福祉サービス事業所への移行対象者がいない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4				・自立支援協議会、子育て支援課、相談支援事業所等、必要に応じて連携している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4				・子どもの成長が見られた場面は積極的に伝えるようにしており日々の様子はお手帳やコドモン、送迎時に保護者様へお伝えしている。 ・病院受診時(発達)は事業所での様子を文章でお伝えし、受診結果をいただく事もある。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4				・契約時に説明を行っている。質問があれば必要に応じて対応している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4				・送迎時・来所時・電話などで随時対応している。また、即答できない場合は事業所に持ち帰り相談し、後日丁寧に対応をするよう努めている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している			4		・今年度は保護者さまが関われる会等開催出来るよう計画して参ります。状況に応じてオンラインの活用も工夫して参ります。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				・苦情があれば迅速に対応している。必要に応じて相談支援専門員を含め対応している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4				・「夢だより」「月間行事予定」「ブログ」等で発信している。 ・保護者様に子どもの日常が伝わるような様々な姿が写った写真を広報誌にのせるようにしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	4				・個人情報の扱いの書類の持ち出しは禁止としている。 ・職員は就職・退職の際に個人情報厳守の誓約書を提出している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				・子どもの特性に応じて話すタイミングや関わり方に配慮している。 ・相手にこちらの意志が伝わるように、言葉を慎重に選んでいる。 ・絵カードを使用したり、視覚支援の活用をしている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている			4		・コロナ禍の影響で地域の行事が中止の為、参加できていない。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4			
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4				・年2回(津波・火災・地震)と内容を変え避難訓練を行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				・毎年、虐待防止研修に参加している。また、別研修で学んだアンガーマネジメントも実践している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4				・契約時に身体拘束の必要がある場合についての説明をしている。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4				・薬がある時は、送迎時や来所時に職員に預け、職員が管理しており保護者さまからは与薬依頼書に記入・押印していただき、実施している。
㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4				・ヒヤリハットを記入し、事業所内で共有し、改善している。	
保護者様評価、自己評価についてまとめ							
<p>オンラインを積極的に活用し職員研修、保護者様とのモニタリング面談など、コロナ感染対策に適切に対応することが出来たと思うが、保護者様交流会の開催が出来なかったのが、来年は保護者さまが関われる行事を企画します。お子様が楽しく経験したり自信を持って取り組める事が増えるよう工夫し、より良い支援に繋がるよう努める。</p>							